

緑化通信

2012
1月25日
(年7回25日発行)
第421号



発行所
社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577

購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

平成二十四年度 第一回理事会開催



十二月十五日参議院会館第一会議室において、十一時から常務理事会、及び十三時から理事全員の出席のもと平成二十四年度第一回理事会を開催した。

(1) 正会員の新規加入及び会員等の動向については、二十三年度正会員の新規加入二社、退会二十社、賛助会員の退会二社があり、十一月三十日現在の会員数は、正会員五百四十五社及び賛助会員十八社となったことを報告。二十四年度正会員の新規加入については、熊本県の井上青華園と鹿児島県の(有)松園商事の加入を承認した。

(2) 平成二十三年度事業報告・決算報告については、

① 各委員長から委員会報告を行い、これを了承した。

② 二十三年度決算の説明に先立ち、決算方法に関して、一般社団法人移行申請に伴い、従来の事業人件費と事業間接経費の配分方法に変更があったことによる変更予算及び特別会計の植生アドバイザー事業の収入、支出についての変更予算の説明があり承認した。

③ 決算報告では、大震災に関わる福島県正会員の年度会費免除に伴う一般会計の事業収入の減少、事業費支出に関して、一般会計の総務費、広報費等の減少理由及び特別会計の植生アドバイザー事業の増加理由等について説明があった。

④ さらに、十三日開催の監査時の指摘事項として、植生アドバイザー事業に関して、委員会の委員数、セミナー実施のスタッフ人数等について再検討すべき事、環境緑化木検定試験は協会員にメリットのある制度にすべき事、地域性植物適用関係について過去の入札に低額入札が行われ、今後は何らかの担保が必要である事及び通勤手当について限度額の設定の必要がある事等が指摘された報告があった。

⑤ その後、決算について採決してこれを承認した。

(3) 平成二十四年度事業計画、予算については、各委員会の計画と予算に関して報告があり、予算案については、特に、植生アドバイザー事業等の委員会経費については、監事の指摘もあつたことから削減した予算であるとの説明があり、これを了承した。

(4) 組織改革検討委員会報告に対する意見については、各ブロック、部会に組織改革検討委員会報告に対する意見を求めたところ、新樹種部会、コンテナ部会から意見の提出があったことが報告された。

① 新樹種部会の意見に対しては、事業実行に当たっては、協会が直営で実施する場合は協会内部の組織とし、部会に委託して実施する場合は部会内の組織とする方向で、今後、理事会で具体的に組織を検討する際に整理することとした。

② コンテナ部会の意見に対しては、新しい総務・企画委員会等4つの委員会については、新法人の協会執行機関であるため、理事が委員長となり責任を持って運営していくべきものであり、理事の改選に際して委員長の交代が生じ得ることとなる。しかし、各事業の実行組織である委員会の委員長には専門性を重視した人選をして、継続的な事業実施に支障がないようにつとめることとした。

④ 以上の各部会の意見には、組織改革検討委員会報告の定款変更案に抵触する部分がないことを確認し、定款変更(案)、会費規程変更(案)、役員報酬規程及び役員退職手当規程変更(案)について総会に提案することを了承した。

(5) 平成二十四年度通常総会については、通常総会配布資料及び二十五年通常総会開催地は、震災の関係で北海道・東北ブロックと中部ブロックの開催順序を入れ替えて、中部ブロックとすることを了承した。

(6) その他については、

① 災害復旧樹種検討委員会(仮称)は、東日本大震災の復興に当たっての緑化樹木の供給確保について、当協会としては、市町村等の植栽計画に計上する適正な樹種の選択について、委員会を設けて一年程度で検討し、提案することとし、一般会計の総務費に予算計上しているとの説明があり、検討の実施方法等について意見交換をした。

② 供給可能量調査、在庫調査入力統一システムについては、供給可能量調査に関する入力システム統一の目的及び経過報告を森田経営委員長が説明し、総会で報告することとした。

③ 原発事故による風評被害に対する協会の対応事項として、東電に対して線量計購入補助費の支出を要請すべきの意見があり、検討した結果、一部慎重な意見もあつたが、協会長名で関東以北の風評被害等を記載して要請することとした。

④ 新樹種部会から質問があつた小委員会等の位置づけについては、今後の理事会で検討される予定であるが、新法人体制に移行後についても、従来通り委託事業で実施する場合は、現行と変化がない予定であるとの説明があつた。

以上のとおり、全ての議事を終了し十六時三十分理事会を閉会した。

① 災害復旧樹種検討委員会(仮称)は、東日本大震災の復興に当たっての緑化樹木の供給確保について、当協会としては、市町村等の植栽計画に計上する適正な樹種の選択について、委員会を設けて一年程度で検討し、提案することとし、一般会計の総務費に予算計上しているとの説明があり、検討の実施方法等について意見交換をした。

② 供給可能量調査、在庫調査入力統一システムについては、供給可能量調査に関する入力システム統一の目的及び経過報告を森田経営委員長が説明し、総会で報告することとした。

平成二十三年度 本部監査を実施

本協会は、十二月十三日(火)十一時三十分から協会会内、金融機関内訳など監査室で平成二十三年度監査を実施した。

この後、預金通帳・残高証明書、伝票等関係帳票を提示・照合・監査の結果、諸帳簿、証憑書類、関係書類は適正に処理され、経費の内訳、固定資産及び繰り越

ことが認められた。なお、監事から以下の指摘事項があり、理事会に報告することとした。

- ・ 植生アドバイザー育成事業については、事業の費用対効果に少々問題があり、委員会開催回数、委員数、セミナー実施のスタッフ人数等について再検討すべきこと。
- ・ 環境緑化樹木識別検定に

についても、協会員にメリットのある制度にすべきこと。

- ・ 地域性植物適用関係については、過去の入札に低額入札が行われ、今後は何らかの担保が必要であること。
- ・ 通勤手当について限度額の設定の必要があること。

積めるので、今後、認識者を集め、海外同様、科・属をまたげば同名使用可能か検討する予定。

講師からは、「業界・団体からの意見・要望は、非常に有用な情報であり、ぜひ書面で提出して頂き、返答していきたい。」との依頼があった。これを踏まえ、今後の勉強会は、事前に質問や要望書を提出し、それに回答する形式で進めたいと望ましいとされた。

最後に、森川副会長による謝辞があり、会を終了した。

品種登録勉強会に 二十八名が参加

十一月十八日(金)弘済会館にて「品種登録勉強会」が開催された。本企画は、新樹種部会生産育種小委員会によるもので、募集対象は全協会員であった。協会員二十八名が参加し、今後ますます重要視される「品種登録制度」の「手続きの流れ」と現況、および「法令」について、農林水産省食料産業局新規事業創出課担当者二氏より講義を頂いた。

講義後の質疑応答では、以下のような活発な意見交換が行われた。

(質問1) 基本的には一度登録された名称については永久に使用できない。(後日回答3) 来年度、可能な限り元のシステムに戻す予定。

(質問2) イチヨウ品種名を検索しようとしたら、ハコヤナギ属に入っていた。違和感を感じるが、このような点は順次改正していく予定はあるのか？ (回答2) 毎年、科・属について見直しを行っているが、おかしな点は指摘して中。法律ではどちらにも解

(質問3) ホームページ上の品種登録データベース検索の中で、どの様な品種が登録されているのか科別に検索する事が出来ていたが、改正後、出来なくなったので使いづらく、元に戻してほしい。(後日回答3) 来年度、可能な限り元のシステムに戻す予定。

(質問4) アメリカなどは科をまたげば同名を使用する事が出来るが、日本では使用できない現状があり、法律には違反しないか。(後日回答4) いまだ検討中。法律ではどちらにも解



会場の様子



種苗審査室長 植木隆氏



法令担当専門官 大原純平氏

関東・甲信越ブロック

総会 —十月十四日長野市で—

関東・甲信越ブロックで事業を起して来た。常務理事が出席した。

ブロック長・荒井利昌氏、正会員二五八名は、十月十四日十三時から長野市「ホテルメトロポリタン長野」においてブロック総会(総会)は二年に一回を開催した。本部からは安倉副会長、植島副会長、立石専務理事が出席した。

総会記念講演 報告

長野県支部 上条祐一郎

去る十月十四日(金)、長野県長野市メトロポリタン長野にて行われた、関東甲信越ブロック総会での記念講演について報告いたします。

講師として、ハイブリッドジャパン株式会社 代表取締役 山浦悦子先生をお招きし、「皆が主役社員」とともにの演題で講演いただきました。

先生は、女性の起業がまだ少なかった昭和五十五年、OA通信機器製造の会社「ハイブリッドジャパン」を設立し、社員を大切に、社員が働きやすい職場づくりに力を入れながら、顧客のことを大切に社員自ら動くことのできる会社づくりをしているそうです。

講演のなかで山浦社長は、社員にやる気を出させる方法として、いくつかのキーワードを述べられました。

1. 人には三匹のタイがいる。『やらせてもらいたい』『褒めてもらいたい』『認めてもらいたい』この三つの『たい』を満足させれば、人は自ら動く。
2. かわいい子には旅をさせろ。社員を外に出して、見聞を広めることが大切。
3. お客様に対して、「満足」だけでなく「感動」させる仕事をする。この三番目の例として、レストランの厨房で働いていたアルバイトの男の子が、お客様の事を考えて自発的に動いて感動を与えた事例をあげておられました。

このほか、新入社員紹介、協会本部報告等があった。小休止後の記念講演は、ハイブリッド・ジャパン(株)代表取締役山浦悦子氏の「皆が主役社員、頑張れる」と題して行われ、講師は、昭和五十五年三十八歳で会社創設以来、清掃業、パソコン教室、託児施設等々時代の変化を先読みし



10月14日、長野市で開かれた関東甲信越ブロック平成23年度通常総会。山浦悦子氏が講演している様子。

動を与えるためどうしたらよいか等について社員からの新アイデアを募り、その実現に社長として頭を使い、知恵を絞れと諭すような講演であった。

講演終了後懇親会に移り、参加者一同は歓談・情報交換等で親交を深めた。

「作るだけでは売れない。社員のアイデアに、社長が出口を見つけて、それが社長の仕事です。」と、木が売れない、売れないと、ぼやいていた自分はこの言葉にはっとしました。そんな自分への叱咤激励として、この言葉は有り難かったです。

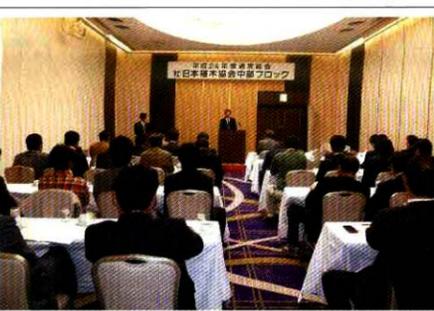
ちょうど総会の当日の朝刊に、山浦社長が、女性で三人目の長野県の公安委員に民間から登用され、就任したとの記事が載っていました。社員を思い、人を思う、そんな懐の深い山浦社長だからこそ、人事だと思えます。これから更に一層のご活躍を期待し、この日の講演を私たちが日々言っているように行きたいと感じました。

中部ブロック

総会 —十二月十四日名古屋で—

中部ブロック(ブロック) 席者五十名、委任状出席三十二名のもと平成二十四年度ブロック総会を開催し、本部より事務局職員が出席した。

総会では、竹内好和氏(静岡県)が開会宣言をしたのち、館良徳氏(三重県)司会のもとに進行し、永井ブロック長(愛知県)が緑育出前授業と記念樹贈呈事業の実施、中部造園学会への加入と同学会主催研修会への参加、生産数量調査の



12月14日、名古屋で開かれた中部ブロック平成二十四年度通常総会。永井ブロック長が挨拶している様子。

す。「作るだけでは売れない。社員のアイデアに、社長が出口を見つけて、それが社長の仕事です。」と、木が売れない、売れないと、ぼやいていた自分はこの言葉にはっとしました。そんな自分への叱咤激励として、この言葉は有り難かったです。

ちょうど総会の当日の朝刊に、山浦社長が、女性で三人目の長野県の公安委員に民間から登用され、就任したとの記事が載っていました。社員を思い、人を思う、そんな懐の深い山浦社長だからこそ、人事だと思えます。これから更に一層のご活躍を期待し、この日の講演を私たちが日々言っているように行きたいと感じました。

入力行協力を報告した。後、一月二十五日東京開催の通常総会参加促進及び平成二十六年度通常総会の中ブロック開催と運営協力を要請した。この後司会が議長に村田利博氏(愛知県)を指名し、定足数の補足後、議事録作成人に英美園・村松守道氏(静岡県)、議事録署名人に赤塚花木園・赤塚正基氏を指名して議事に入る。

議案は①平成二十三年事業報告②平成二十三年決算報告及び監査報告を一括審議して賛成多数で承認し、続いて③平成二十四年度事業計画(案)に関して、ブロック長が新規事業として環境緑化木識別検定試験の講習会を六月に、検定試

関西ブロック

総会 —十一月十七日大阪市で—

関西ブロックは、十一月十七日(木)大阪市・帝国ホテル大阪にて平成二十四年度ブロック通常総会を開催し、出席者は山脇康治ブロック長をはじめ、二十七名で本部から水城会長と事務局職員が出席した。

総会は、午後二時より、勝山副ブロック長の司会で始まり、山脇副ブロック長の挨拶、水城副会長の祝辞と挨拶、総会がブロック会員四十二名中、二十七名の出席、委任状出席十四名の計四十一名で、総会成立を宣言して議事に入った。

総会記念講演 報告

関西ブロック長 山脇康治

平成二十三年十一月十七日、関西ブロック総会後、帝国ホテル大阪において、株式会社N・N・コーポレーション 代表取締役である則岡宏牟氏に「奮闘前進(はげしきせんしん)ゴー」にむかって」というテーマで講演をしていただきました。

昭和二十二年生まれ、木業を伊丹市にて開業後、建設会社開業、木材輸入会社設立、現在分譲住宅業界にも参入され、古民家の再生にも取り組まれています。

「安藤忠雄氏が立ち上げた「桃」保育英会 東日本大震災遺児育英資金」に十年間、寄附することを役員会で決定し、その承認と協力依頼があった。議事終了後、委員会・部会報告、協会本部報告が行われ、議事は全てを終了し閉会した。

総会終了後、株式会社N・N・コーポレーションの則岡宏牟代表取締役にご講演いただいた。

その後、会場を懇親会に移し、情報交換や親交を深め午後七時に閉会した。



11月17日、大阪市で開かれた関西ブロック平成二十四年度通常総会。山脇康治氏が講演している様子。



講師 則岡宏牟氏

中国・四国ブロック

総会 十一月二十五日高知市で

中国・四国ブロック(ブロック長/田宮義徳氏)は十一月二十五日午後一時三十分から、高知県高知市土佐御苑において平成二十四年度通常総会を開催し、本部から水城会長と事務局職員が出席した。

総会は、ブロック会員等二十一名の出席のもと、島井副ブロック長(高知県)の司会により進行し、水城会長が、東日本大震災における義援金の協力をはじめ、平素の協力に謝意を表し、平成二十五年度の一般社団法人への移行について更なる協力を要請した。この後、西坂理事(愛媛県)が挨拶をして議長に田宮義徳氏(鳥取県)と議事録署名人に岡宗信明氏(高知県)と森本泰好氏(徳島県)を選出して議事に入った。

議事は平成二十三年度事業報告、平成二十三年度決算報告及び監査報告を上げ、引き続き、平成二十四年度事業計画案と平成二十四年度予算案を上げ、賛成多数でこれを承認したのち、委員会報告と本部報告をして、平成二十五年度から移行の一般社団法人への移行に関してポイントとなる点を事務局から報告し、すべての議事を終了した。その後、会員から放射線量に関する協会対応として、線量基準等独自の指針対応を要請したが、樹木等に関する基準値が明確でない現状では、協会として提示することが困難であることを述べて理解を求めた。

総会終了後は、午後三時から(株)グリーンダイナミックス

九州ブロック

総会 十一月十一日熊本市で

九州ブロック(ブロック長/二村沢行氏、正会員百二十名)は、十一月十一日十三時三十分から熊本市「熊本交通センターホテル」においてブロック総会を開催した。本部からは水城会長、立石専務理事が出席した。

総会は、二村ブロック長、水城会長の挨拶に続いて議事に入った。議長は、議長に東 功氏(熊本県)を選出、議事録署名人に松山一義氏(鹿児島県)、湯之上睦氏(鹿児島県)を指名した後、議案の①平成二十三年度事業報告、②決算報告及び監査報告、③平成二十三年度事業計画案、④収支予算案)について審議し、原案どおり承認した。続いて役員改選に入り、ブロック長を二村沢行氏(大分県)が留任した。

次に、入・退会者の報告、委員会・本部報告等が行われ、十五時全ての議事を終了し、閉会となった。

小休止の後、今回初めての試みとして講演会に代えて研修会が行われたが、高木 中低木、コンテナ、流通の分野で七グループに別れて、それぞれリーダーを中心に「売れる木」、「売れない木」、「売りたい木」について日頃の生産販売で苦労していること等について話し合い、その後、全体

九州ブロック

グループ研修会 報告

去る十一月十一日の九州ブロック総会時の研修会に初の試みとして、参加者全員を高木・コンテナ・中低木・流通のグループ七班(七十二名)に分け、各班毎に「売れる木・売れない木・売りたい木」をテーマとして、それぞれ色んな話を二時間三十分に分けて話し合いました。

その後、各班の担当リーダーからその内容について下記の通り発表して頂きました。

○高木Aグループ (後藤英保 担当)
現在では建売が中心の需要で女性が好む木、特に株立がよく売れている。今売れない木は我がが新樹種と言った苗木を、なかなか宣伝植えた木で、なかなか宣伝まで行き届かず設計者に知

九州ブロック

流通Aグループ

中国向けの輸出が盛んである一方、国内向けでは生産が販売中心に向いている。その為、高木の注文が少なく定期便もコストが掛り、しっかりと価格設定をして行きたい。又、施工までのタイム差が有り、造園屋さんとの連携をもっと大切すると共に、我々の生産量は三割減の後継者

九州ブロック

流通Bグループ

情報・知識を發揮し自己PRをして行かなくてはならない。以上 各班とも活発な討議で時間も忘れて盛り上がり、また今回の様な研修会の開催をどの要望が多数出る中、無事閉会いたしました。みんな夢を見て夢を語りそして実行するようになり、次回もグループ研修会を計画したいと思えます。

九州ブロック

流通グループ研修会

ない事が有る。もっと基本に立ち返り目で確かめる事をしなければいけないのでは？又、輸送関係ではコストが高く付く様になり、新しい流通形態を皆で考えネット販売や市場価格との差を縮め、変化に付いて行ける様に努力が必要と感じ

総会記念講演

中国・四国副ブロック長 島井 聡

平成二十三年十一月二十五日(土)佐御苑に於いて通常総会を行い、第二部として講演会を開催致しました。

講師は九州ブロックの研修会でも好評だったこのことで、(株)グリーンダイナミクス代表取締役で園芸文化研究家の實業家 宏和氏に「なんとかせんといかんせよ」先人の知恵となりわいに学ぶ「植木の未来」という演題で講演をしていただきます。

講演の内容としましては、「ご自身のこれまでの活動を振り返り、

報告

花や緑に関するさまざまなイベントや、バラの育種等を手がけるなかで、「ネイミングライツ」による「ピール」の大切さや「物を売るからサービスを売る」等、今後われわれが緑化業界で仕事をしていくうえでたいへん参考になるような興味深いお話だったと思います。

いがかんせよ」と題して、江戶時代の植木に関して、民間の台頭、江戸園芸の特徴をはじめとして、こうしたことを原点としてヒントに推進する「日本の野生植物の耐寒性・耐暑性」「樹木と住宅の関連に関するエコ」「地域のために植樹する運動」「セールのプロモーションの方法」等々について講演した。

講演終了後は、会場を移動して六時から懇親会を開催して和やかなうちにも活発な情報交換や親交を深めた。翌日は牧野植物園の視察研修を行い、昼食後午後一時にJR高知駅にて解散した。

高木Aグループ

売れる木は人が持つてない木で、葉がサラサラしてメンテナンスの少ない木であり、売れない木は大径木で清潔感の無い木である。売りたい木は地域性の有る木で、九州版の売りたい木のデータ作りをしたら良いのではとの意見も上がった。又、高木は分散して作ると良いとの意見が有り、我慢と継続。が大切なとの意見に成った。

コンテナAグループ

時代は変わり大量消費が崩れ少量多品種の時代に成り、コストアップや売れない物が多くなった。売るためには特徴とこだわりを持って、また販売先の使用例などを紹介しながら商品アピールをして

中低木グループ

も少なく、落葉灌木の生産が著しく減っていく中、ポットでは作りにくい樹木や規格を仲間同士連携し合い、価格や生産量の安定を図られるように努めて行かなければならない。もっと生産者同士話し合い、研究する機会を増やしながらかって行く様にしたい。

上野泰一 担当

中国向けの輸出が盛んである一方、国内向けでは生産が販売中心に向いている。その為、高木の注文が少なく定期便もコストが掛り、しっかりと価格設定をして行きたい。又、施工までのタイム差が有り、造園屋さんとの連携をもっと大切すると共に、我々の生産量は三割減の後継者

福島精一 担当

情報・知識を發揮し自己PRをして行かなくてはならない。以上 各班とも活発な討議で時間も忘れて盛り上がり、また今回の様な研修会の開催をどの要望が多数出る中、無事閉会いたしました。みんな夢を見て夢を語りそして実行するようになり、次回もグループ研修会を計画したいと思えます。

エコプロダクツ2011 出展

生物多様性と子どもの森実行委員会に協力

エコプロダクツ展の総来場者数は、三日間で十八万人を超え、出展者数はおよそ七百五十社・団体。協会員である(株)グリーンエルクム(大分県)による「地域の森づくりのための樹種の提案と苗木の展示」もあつた。

(生物多様性と子どもの森実行委員会 参加団体名: 一般社団法人CEPAジャパン、財団法人日本環境協会、社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人日本環境教育フォーラム、特定非営利活動法人子どもの森づくり推進ネットワーク、財団法人オイスカ、財団法人日本生態系協会、社団法人全国森林レクリエーション協会、全国森林インストラクター会)



九州ブロック総会開催の様子



講演会の様子



グループ研修会の様子



エコプロダクツ2011の出展風景



サギの展示風景

日本列島植木植物園

視察研修会in熊本

日本列島植木植物園委員 清水 洋樹
(熊本水植物園・福井県)

十月二十八日、二十九日に熊本県下で「日本列島植木植物園」に参加している(株)大阿蘇造園さん、古閑樹苗園さんの二社園に視察研修に行きました。今回の視察は地元熊本県の(株)清光園芸・熊本支店・大村さんの呼びかけのおかげが今までになく若い青年部会員さんの比率が高い研修でした。私の場合は毎回先輩の皆様から「自分では思いつかない元気が出るお話を聞いて次の日からの活力にするために参加しているよつなものでしたが、今回は同世代の若い人達とも「楽しく将来を語り合い仲間をふかめる」ことができた視察研修会になりました。

あいにくの空模様で阿蘇山の素晴らしい景色を見るには今一つでしたが、両社園園場を視察する際は、な

「楽しんで」が目的です。本日は高木な目的の「日本列島植木植物園」は自分が植木屋としてやりたいことを表現して、いろいろな人に知ってもらえる場であり、その視察研修はいろいろな意味で自分にあつみをつけ意欲を高める場です。そういった意味でも今回視察させていただいた二社園さんは園場の阿蘇山の自然に

「楽しんで」が目的です。本日は高木な目的の「日本列島植木植物園」は自分が植木屋としてやりたいことを表現して、いろいろな人に知ってもらえる場であり、その視察研修はいろいろな意味で自分にあつみをつけ意欲を高める場です。そういった意味でも今回視察させていただいた二社園さんは園場の阿蘇山の自然に



(株)大阿蘇造園さん園場にて



古閑樹苗園さん園場にて



水前寺公園



熊本城にて



日本列島植木植物園 訪問記

古閑樹苗園 (熊本県)

今回は、熊本県阿蘇市にある古閑樹苗園さんを訪問させていただきました。熊本駅より、車にて約1時間、雄大な阿蘇山の麓に社園はありました。

園場は、自然の形状を生かしたまじく里山で、樹木を眺めながら、楽しめる雰囲気でした。随所に看板が用意されたり、樹木名を表示してあったりとわかりやすく、一般の方でも楽しめると思います。

園主の古閑勝憲さんに伺ったので、是非皆さんも案内を見逃さず参加してください。

最後に、近年の世界的経済不安・異常気象に伴う災害等の影響も加速度的な国内の変化を求めているのかのように感じる今日この頃ですが、植木協会も多分にもれず変化にむけて動き出しているようです。大変な作業かと思

いますが「多数の会員が気軽に参加しやすい、または参加しているんだと感じる」ような、そんな協会にしてほしいという思いがあります。そんな時に日本列島植木植物園事業が発足し、自然形の樹木を使って「古閑の雑木林」を作ってみようと思いました。少しでも多くの方に

参加された動機は何ですか。 植木を生産して三十年。お客様から求められるものは、樹形が整い、まっすぐで下枝のちろん役所用樹木に必要な要素です。しかし一方、里山に自生する樹木本来の良さがある気がして、その良さを少しでも多くの方に知って欲しいという思いがありました。そんな時に日本列島植木植物園事業が発足し、自然形の樹木を使って「古閑の雑木林」を作ってみようと思いました。少しでも多くの方に



3. 他社園にはない、自社園の特徴や見どころは何ですか。 やはり阿蘇の在来の雑木を活かした点だと思います。また、散策する中で感じる「テーマにしたゾーン」を設け、この地の歴史や会社の歩み等と植物園を絡め、看板で案内しておりますので、より植物園を楽しみ「感じて」いただけたらと思います。

4. 定期的な催し・イベントはありますか。 植物園の存在をより多くの方々に知って頂くために、今後私どもも何か企画していきたいと検討しております。できたら植物園をながめながら、当地の山水で入れたコーヒーでも飲めるような喫茶店、もしくは当地生産のそばを食べられ

5. 日本列島植木植物園に今後、期待することは何ですか。 テレビや雑誌など、メディアを通してのアピールをもう少し行っても良いかと思ひます。まずは、より多くの人に植物園の存在を知ってもらえることが大事だと思います。また、4.にもつながる事ですが、全国で日本列島植木植物園事業に参加している方すべての植物園において、統一のイベントを企画するのもしいいのではないかと思います。

6. 来園者への一言をお願いします。 季節ごとに違った趣きを見せてくれる雑木林に、ぜひ何度もおいで下さい。

1. 日本列島植木植物園に参加された動機は何ですか。 雑木を生産して三十年。お客様から求められるものは、樹形が整い、まっすぐで下枝のちろん役所用樹木に必要な要素です。しかし一方、里山に自生する樹木本来の良さがある気がして、その良さを少しでも多くの方に知って欲しいという思いがあります。そんな時に日本列島植木植物園事業が発足し、自然形の樹木を使って「古閑の雑木林」を作ってみようと思いました。少しでも多くの方に

2. 参加されての感想はいかがですか。 雑木の良さを伝えていく事が、当社の喜びでもあり使命だと感じております。

3. 他社園にはない、自社園の特徴や見どころは何ですか。 やはり阿蘇の在来の雑木を活かした点だと思います。また、散策する中で感じる「テーマにしたゾーン」を設け、この地の歴史や会社の歩み等と植物園を絡め、看板で案内しておりますので、より植物園を楽しみ「感じて」いただけたらと思います。

4. 定期的な催し・イベントはありますか。 植物園の存在をより多くの方々に知って頂くために、今後私どもも何か企画していきたいと検討しております。できたら植物園をながめながら、当地の山水で入れたコーヒーでも飲めるような喫茶店、もしくは当地生産のそばを食べられ

5. 日本列島植木植物園に今後、期待することは何ですか。 テレビや雑誌など、メディアを通してのアピールをもう少し行っても良いかと思ひます。まずは、より多くの人に植物園の存在を知ってもらえることが大事だと思います。また、4.にもつながる事ですが、全国で日本列島植木植物園事業に参加している方すべての植物園において、統一のイベントを企画するのもしいいのではないかと思います。

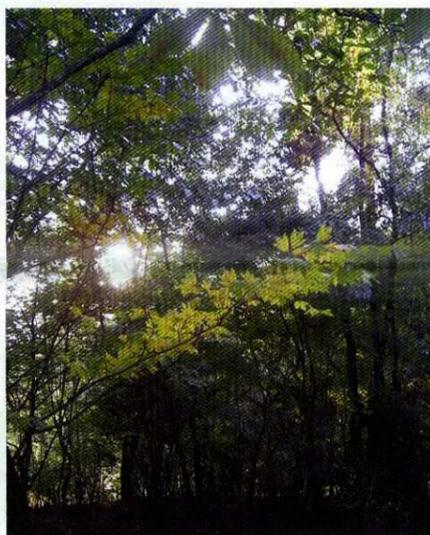
6. 来園者への一言をお願いします。 季節ごとに違った趣きを見せてくれる雑木林に、ぜひ何度もおいで下さい。



随所に設置された案内板で来園者が楽しめるように工夫されている



園内からの素晴らしい眺め



阿蘇の在来の雑木を活かした園内



里山をイメージさせる園内

★12月 開催済み事業・会議等一覧★

12月	会議等 名称	場所
1日	木 三役会	協会・会議室
7日	水 緑育出前授業実行委員会	協会・会議室
8日	木 【青年部会】新旧合同委員会	マロウドイン赤坂
8日	木 【新樹種部会】20周年記念事業準備委員会	協会・会議室
9日	金 【コンテナ部会】役員会	協会・会議室
13日	火 監査・監事会	協会・会議室
14日	水 中部ブロック総会	名鉄名古屋グランド
14日	水 新役員候補者会議	協会・会議室
15日	木 常務理事会・理事会	衆議院議員会館
15-17	広報委員会エコプロダクツ展	東京ビッグサイト
20日	火 【青年部会】監査	協会・会議室

★(株)日本植木協会ホームページ★
日本列島植木植物園のURL(アドレス)が変わりました。(http://www.ueki.or.jp/open-nursery/) 【会員限定情報】 ← 閲覧するにはパスワードが必要です。 会議報告随時更新中、掲示板コーナー疑問やご意見など、ぜひお気軽にご投稿ください。 【トピックス】 林野庁長官通達「林業用種苗の配布区域外への配布申請の手続きについて」の一部改正について

日本列島植木植物園 新規登録社園 大募集!

日本列島植木植物園は、平成15年4月29日オープン以来、現在70社園が登録しています。全国の植木の園場を開放して(オープンナーサリー)、情報をネットワークで結ぶ、という世界にも例のない事業で、1社園ではできない社会貢献やビジネスの大きな枠組みを作ることが可能です。規模と内容を充実して業界を活性化するために、110社園以上の登録を目指し、新規登録を募集しています。特典もありますので、是非ご登録ください。 さて、植物園登録に関心を持っている社園では、初期投資と現業への効果が一番気になることでしょう。 業績を上げている登録社園の一例をあげると、ポイントは次のようなものです。 ①できることからやる(高望みしない)。 ②自社園の強みを出す。 ③ターゲットを明確にする(プロか一般ユーザーか)。 ④機会を最大限に利用する(とくに植物園ホームページ)。 まずは、植物園ホームページ (http://www.ueki.or.jp/open-nursery/) をご覧ください。(詳細については事務局・日本列島植木植物園担当までお問合せ下さい) [注:新規登録の社園には園名板を設置された場合、1社園あたり3万円の本協会からの助成があります(先着5社園となります)]

二十三年度コンテナ部会 国内研修会概要報告

海の森・大橋グリーンJCTと神奈川県園場視察

コンテナ部会は十月六日、造成中の現場が一望に
く七日の二日間、東京都と
神奈川県において国内研修
会を開催しコンテナ部会
員、賛助会員、協会員等、総
勢六十一名が参加した。研
修会の概要は次のとおり。

十月六日(木)品川駅十二時
三十分集合、二班に分か
れ、それぞれバスに分乗し
十三時迄に出発。

視察先の人数制限のため、先発A班は「首都高速
の大橋グリーンジャンクシ
ョン」、B班は「東京都港
湾局の海の森」を先に視察
して、一般ではなかなか入
れない話題の施工現場2ヶ
所を視察した。

一ヶ所一時間の視察時
間、さらに横浜のホテルに
移動して勉強会一時間とい
う、半日としては盛り沢山
の行程だったが、参加者の
協力で無事消化して、地元
部会員六名が待つ懇親会を
迎える事が出来た。

①東京都港湾局「海の森」
の造成現場と植栽地視察
都港湾局 臨海開発部
海上公園計画担当課長 関
田吉氏とスタッフの案内



「海の森」植栽地



概要を説明する関田吉課長

・植栽は、都民・企業・NP
Oなどの協働で進め、
小学生や都民が育てた苗
木と募金で購入した苗木
を植栽する。平成二十年

秋に第一回植樹イベント
が開催され、毎年植樹イ
ベントが行われている。
・植栽の基本的な考え方
は、ヤブツバキクラス域
シイ・タブ林の照葉樹を
主体に植栽し、タブノキ
を中心とした海岸性の植
生を目指す。防風・防潮
効果が高い樹種を選定し
ている。

現在の主な植栽樹種は左
記の通り
クロマツ・イヌマキ、タ
ブノキ・スダシイ・ユズ
リハ・ウバメガシ・クス
ノキ・シロダモ・モチノ
キ・ヤブツバキ・ヤマモ
モ、エノキ・オオシマザ
クラ・アキニレ・エゴノ
キ 他

②大橋グリーンジャン
クションの視察
首都高速道路(株)計画・環
境部 環境グループの山崎
俊樹氏とスタッフによる概
要説明があり、その後、植
栽された屋上緑化現場を視
察した。

三つの緑(自然再生の
緑「公園の緑」「街並みの
緑」を形成して、周辺の緑
地と連携したエコロジカ
ル・ネットワーク形成を目
指し、今回は「自然再生の
緑」である換気所屋上の植
栽現場「おおはしりの杜」
を視察した。

目黒川周辺の原風景をモ
デルに、斜面林、草地、湧
き水・流れ池、水田などを
作り「多様な生き物の生育・
生息空間の再生、生き物中
心の緑地」として整備した
という。午前中に小学生が
稲刈りしたばかりの水田、
ヤマザクラ・コナラ・イヌシ
デ等の樹木や野草が多種植
えられた斜面緑地、小川の
流れなどで、大都会の屋上
に里山が演出されていた。

大橋JCT見学にご尽
力、ご同行いただいた桐蔭
横浜大学工学部 飯島健太
郎准教授が「緑化と節電の
最新事情」について講演し
た。薄層屋上緑化や壁面緑
化でのサーモカメラによる
計測事例をあげ、また屋上
緑化による節電効果につい
ては、一日積算消費電力量
で、緑化区は非緑化区より
二十三〜三十三%の低減効
果があるとのこと。また福
島県被災地仮設住宅の「グ
リーンカーテンとサーモ画
像」にて、部会提供長尺ヘ
ダラによる木陰効果は直ち
に確認されたと報告。

緑の効用は熱環境緩和効
果だけでなく、精神も落ち
着かせる大切な役割もあ
り、その必要性は今後益々
高まり、その一翼を担う生
産者の皆さんと協力して緑
を増やしていきたいとし
た。

④懇親会では、協会の(株)
東海化成が資材展示を行
い、部長長挨拶・神奈川県
鈴木康夫理事の乾杯後、翌
日の視察でお世話になる六
社の社員紹介が行われ、
被災された向相馬グリーン
も元気な姿で挨拶し、(株)小
田原植木 近藤勇男氏の中
締めでお開きとなった。

翌七日(金)は、ホテルモ
ントレ横浜を八時二十分に
出発、最初の訪問先、生駒
植木園に向かった。

生駒園二社長の案内で、
大径木が多く自然の森のよ
うな園場を見て回った。研
修資料用に配付した会社案

内DVDには、大径木(ク
ス・モチノキ等)の根巻作
業や立木のままの移植作業
映像が収められていた。

次の向飯田園芸では、点
在している数か所のコンテ
ナ栽培圃場を歩いて見て回
った。栽培圃場の関心だ
けでなく、栽培方法や器具
などに注目すべきものが多
かった。特に写真のような
遮光方法は、関東で大きな
被害をもたらした台風十五
号にも耐え、遮光効果もあ
ることなどで、採用を検討
したい参加者からの質問が
集中していた。

消費地の植木圃場は消費
者ニーズに合わせた多品種
の品揃えが必要との事で、
尾上園圃場と周辺のきれいな
植木生産者の圃場を視察し
て回り、遠くまで待機して
いるバスを呼び、植木産地を
あとにした。

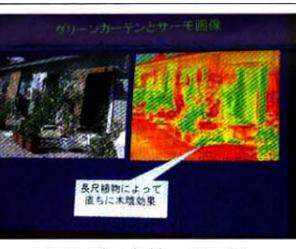
連休前の金曜日で交通混
雑が予想され、予定してい
た柏木園芸の会社訪問は中
止となり、解散地JR品川
駅へ向かい十六時前に到着
して解散となった。

今回の視察先の皆様方に
は数々のお心遣いをいただ
き誠に有難うございまし
た。

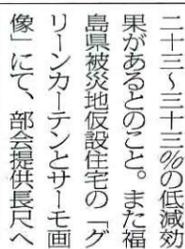
「今日は一万歩歩いた」
との声もある程、徒歩での
移動が多く参加者には苦
痛をお掛けしました。駐車
場が少ない場所での大型バ
ス視察は、交通渋滞等の道
路事情も加わり、企画その
ものが敬遠され、なかなか
実現出来ませんでした。今
きに歩きました。四年後、
山田六人立候補、なんとし
ても二十四名の中はいつ
ても市の教育に物を言いつ
づければ、おかげさ
まで現在があります。合併
して六年、耐震工事はほと
よの昭和三十年代の小中学
校五校を建設中で、教育の
中身にも力を入れていま
す。将来の紀の川市、日本
を背負う子供達の為に、し
かし市財政は厳しいです。

皆様方はどうですか。各
人いろいろな人生の中で、私
は今市議として一票を頂い
たありがたさを心に、この
紀の川市を見守り育ててい
ます。一方、植木屋の方は、
あのバブルの時代を経験し
ている為、毎年毎年パイが
小さくなるのは情けなく思
っています。商いの世界は

個人の経営努力が必要な世
界でありますが、根本では
植木を商いとすることに
おいては同じであり、同じ考
えの皆とともに、進むべき
将来にベクトルを合わせてゆ
くべきだと考えます。
その中で私はあえて言わ
せて頂きますが、ニッサン
の社長、私の母校の二級
先輩、五十七才(志賀)、
トヨタの社長も五十才代と
聞いています。かつて協会
青年部をアクティブにされ
た方、もっと協会の中央に
出て来て植木の世界を導い
てほしいものです。



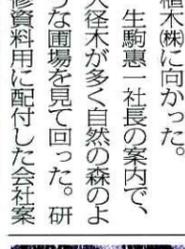
長尺ヘダラとサーモ画像



大橋「グリーン」ジャンクション



勉強会 全景



生駒植木園にて



向飯田園芸 圃場視察



寒冷紗を縦にノレン状に設置



高橋緑化園にて



日本列島植木植物園



尾上園圃場



尾上園にて



生駒植木園 圃場



尾上園圃場

地方かわら版 「人生に挑戦」

関西ブロック 阪中 晃 (阪中緑化樹生産センター・和歌山県)

私は阪中晃、五十五才。三十三年前に大学卒業と同時
に植木の世界に入り、現
在に至っています。

十二年前、こんなゆとり
教育をしてはだめだと
思い、桃山町長に二年間教
育長にしてほしいと頼んだ
のがきっかけで、町議選
へ。それから六年、近隣五
町が合併し七万の市に、七
十五人の町議が三十人の市
議に、桃山町八千人の人口
でおまけに六人立候補、歩
きに歩きました。四年後、
定員二十四人に、またも桃
山町六人立候補、なんとし
ても二十四名の中はいつ
ても市の教育に物を言いつ
づければ、おかげさ
まで現在があります。合併
して六年、耐震工事はほと
よの昭和三十年代の小中学
校五校を建設中で、教育の
中身にも力を入れていま
す。将来の紀の川市、日本
を背負う子供達の為に、し
かし市財政は厳しいです。

皆様方はどうですか。各
人いろいろな人生の中で、私
は今市議として一票を頂い
たありがたさを心に、この
紀の川市を見守り育ててい
ます。一方、植木屋の方は、
あのバブルの時代を経験し
ている為、毎年毎年パイが
小さくなるのは情けなく思
っています。商いの世界は

個人の経営努力が必要な世
界でありますが、根本では
植木を商いとすることに
おいては同じであり、同じ考
えの皆とともに、進むべき
将来にベクトルを合わせてゆ
くべきだと考えます。
その中で私はあえて言わ
せて頂きますが、ニッサン
の社長、私の母校の二級
先輩、五十七才(志賀)、
トヨタの社長も五十才代と
聞いています。かつて協会
青年部をアクティブにされ
た方、もっと協会の中央に
出て来て植木の世界を導い
てほしいものです。

また、このような経済の
中、TPPも参加してゆく
時代に入っています。協
会として、会員さんの社
員、息子さんの植木の勉強
・研修に力を入れてほしい
ものです。

話は変わって、ここ和歌山
支部三名は、よく酒を飲み
ますが、「もう協会やめる
か」が、飲んでる間に何
回かその言葉が出ます。日
本に植木の生産流通の業者
集まりは、私達以外ないの
だから、という言葉で最後
にしています。

協会の内も知らず、言い
たい放題をおゆるし頂きま
すよう、本部の考え、行動
が支部の一人まで聞こえま
すよう、お願いします。

協会の内も知らず、言い
たい放題をおゆるし頂きま
すよう、本部の考え、行動
が支部の一人まで聞こえま
すよう、お願いします。

新樹種部会 第10回 新しい造園樹木の研修会 in 日比谷公園・緑と水の市民カレッジ

「かおる植物の利用法」 パネルディスカッションを開催

新樹種部会は、十月二十四日(月)午後一時より、日比谷ガーデンニングショー2011開催中の日比谷公園・緑と水の市民カレッジにおいて、第10回新しい造園樹木の研修会を開催した。協会外参加四十一名を含む八十一名の参加があり、ガーデンニングショー会期中、最も賑わいを見せた研修会となったことだ(カレッジ担当著者)。

記念すべき10回の本研修会は、座学のみにとどまらず、実際の樹木を見て触れて頂くことを目標とした。よって、研修会は、午後一時、日比谷ガーデンニングショー内で展示中の樹木の見学から始まった。実際の樹木を見て、参加者から寄せられる質問に回答する形式で見学が進行した。

午後二時からは、研修会第一部「将来期待される香る新樹種」と題し、新樹種部会員の金岡栄興氏(株)撰樹園・兵庫県)、城垣章氏(有)大門殖産園・埼玉県)、大野富久氏(有)長寿

新樹種部会は、十月二十四日(月)午後一時より、日比谷ガーデンニングショー2011開催中の日比谷公園・緑と水の市民カレッジにおいて、第10回新しい造園樹木の研修会を開催した。協会外参加四十一名を含む八十一名の参加があり、ガーデンニングショー会期中、最も賑わいを見せた研修会となったことだ(カレッジ担当著者)。

記念すべき10回の本研修会は、座学のみにとどまらず、実際の樹木を見て触れて頂くことを目標とした。よって、研修会は、午後一時、日比谷ガーデンニングショー内で展示中の樹木の見学から始まった。実際の樹木を見て、参加者から寄せられる質問に回答する形式で見学が進行した。

午後二時からは、研修会第一部「将来期待される香る新樹種」と題し、新樹種部会員の金岡栄興氏(株)撰樹園・兵庫県)、城垣章氏(有)大門殖産園・埼玉県)、大野富久氏(有)長寿

新樹種部会は、十月二十四日(月)午後一時より、日比谷ガーデンニングショー2011開催中の日比谷公園・緑と水の市民カレッジにおいて、第10回新しい造園樹木の研修会を開催した。協会外参加四十一名を含む八十一名の参加があり、ガーデンニングショー会期中、最も賑わいを見せた研修会となったことだ(カレッジ担当著者)。



写真1 研修会場



写真2 第二部 パネルディスカッション「心豊かな暮らしの design」

写真右: 新樹種部会長 小林隆行氏 (株)小林ナーセリー・埼玉県)
 右から二番目: 環境省 水・大気環境局 大気環境課 大気生活環境室 室長補佐 中野哲哉氏
 右から三番目: 東京都 建設局 公園緑地部 公園建設課 課長 山下博史氏
 左から二番目: 社団法人 日本アロマ環境協会 理事長 宇田川僚一氏
 写真左: 社団法人 ランドスケープコンサルタンツ協会 会長 大塚守康氏

「かおる植物の利用法」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。例であり、「かおり」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。

例であり、「かおり」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。例であり、「かおり」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。

例であり、「かおり」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。例であり、「かおり」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。

例であり、「かおり」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。例であり、「かおり」をテーマとした緑化事例は増えていくものと思われる。



2012年開催 第29回全国都市緑化フェア TOKYO

環境省主催みどり香るまちづくり企画コンテスト

顕著な成果を挙げた。この中で、一般大衆の反応は顕著だ。この中で、一般大衆の反応は顕著だ。この中で、一般大衆の反応は顕著だ。



写真3 マーケティングの図で説明する日本アロマ環境協会宇田川理事長

新しい造園樹木の研修会 in 日比谷ガーデンニングショー-展示樹種一覧

呼称名	学名	規格	数量	備考	県名
サンゴミズキ 'オーレア'	Cornus alba 'Aurea'	H0.6 W0.6	1	30.0p 葉裏暗赤	
セリセアミズキ 'ワラビラメア'	Cornus sericea 'Flaviramea'	H0.6 W0.6	1	30.0p 緑葉枝黄	
アメリカアザミ 'NCHA I' (ピンクのアナベル P.P.)	Hydrangea arborescens 'NCHA I' (ピンクのアナベル P.P.)	H0.8	2	2L 0P	
フリウツキ 'リンヒ' (ファンアルブレイズ)	Hydrangea paniculata 'Reahy' (VANILLE FRAISE *)	H0.8	3	18.0p 白・桃・赤色の紅葉各1ポットづつ	
サワラ 'ゲッコウ' 別名: ゲッコウヒバ	Chamaecyparis pisifera 'Gekko'	H1.0 W1.0	1	白葉性	北海道
ヨーロッパトウヒ 'インバーサ'	Picea abies 'Inversa'	L1.4	1	枝垂れ	
ブンゲンストウヒ 'グロボーザ'	Picea pungens 'Globosa'	H0.4 W0.6	1		
ブンゲンストウヒ 'アイゼンファステナギアータ'	Picea pungens 'Iseli Fastigiata'	H1.8	1		
ヤチヤチキ	Myrica gale var. tomentosa	H0.20	1	よい香りのする低木	
トウカエデ '花散里'	Acer buergerianum 'Hanachirusato'	H2.0	1		茨城
クロモジ	Lindera umbellata	H2.0 株立ち W1.2	1		
ヤマコウバシ	Lindera glauca	H2.0 株立ち W1.2	1		
シナノキ	Tilia japonica	H2.0 2株立ち W1.0	1		栃木
カナクギノキ	Lindera erithrocarpa	H2.5 W1.5	1		
シダレ西洋シダ	Carpinus betulus 'Pendula'	H3.3 CO.25 W2.0	1		
マルバキ '別荘'	Disanthus coccidiifolius 'Rikyuu'	H0.3 28P	1	ベニムササキとも呼ばれる丸い葉は秋に美しく紅葉する	
アメリカワウ 'ロタンテアローバ'	Liquidambar styraciflua 'Rotundifolia'	H2.0 30P	1	ユニークな葉形	
アメリカワウ 'スレンダーシルエット'	Liquidambar styraciflua 'Slender Silhouette'	H2.0 30P	1	ファスティギアタイプ	
アメリカハナスオウメキシカーナ	Cercis canadensis var. mexicana	H1.3 30P	1	小葉でコンパクト	
アメリカハナスオウ 'トラベラー'	Cercis canadensis texensis 'Traveller'	H1.5 50P	1	光沢のあるシダレ	
アラスカヒノキ 'バンデンアッカー'	Chamaecyparis nootkatensis 'Van den Akke'	H2.0 40P	1	ブルーの葉でスリムなシダレ	
ピンオーク 'グリーンピラー'	Quercus palustris 'Green Pillar'	H3.5 60P	1	ファスティギアタイプ	
オリエンツナ 'イスカランダ'	Fagus orientalis 'Iskander'	H2.0 30P	1	ファスティギアタイプ	
セイヨウシダレナ	Carpinus betulus f. nana	H1.5 30P	1	コンパクトな葉性	
アメリカマシシメツクスワード (サマー ワイン)	Physocarpus opulifolius 'Seward' (SUMMER WINE™)				埼玉
キンバイカ	Myrtus communis				
グミ 'ギルトエッジ'	Elaeagnus x ebbingei 'Gilt Edge'				
イチゴノキ赤実	Arbutus unedo				
イチゴノキ白実	Arbutus unedo				
マホニアコンヒューサ	Mahonia confusa	H1.8	1~	冬と春に二度咲く桜	
柿 (千成柿)	Diospyros lotus	H1.5内外	1~	名前通り、実なりがよい「千成柿(せんなりがき)」ただし、実は酸味用	
オガタマボトワイン	Magnolia (Michelia) figo 'Portwine'	H1.2	1	花からよい芳香(バナナ似)がする常緑樹	
'サマーグラス'	Cornus hongkongensis cv 'Summer Glassy'	H2.5	1	常緑ヤマボウシ照葉樹立	
'ブルーミングメリーテトラ'	Cornus hongkongensis 'kousa' 'Blooming Merry tetra'	H1.8	1	落葉二期咲ヤマボウシ白多花性種間交雑	
ゴードニア	Gordonia szechuanensis	H1.5	1		神奈川県
ロドレイア	Rhodora henryi	H1.5 W0.8	1		
タイサンボク 'ブランチード'	Magnolia grandiflora 'Branchard'	H4.0	1	葉裏と新梢に茶色の細毛がある光が当たれば茶が美しい	愛知
タムシバ	Magnolia salicifolia	H4.5	2	わずかな芳香があるファスティギアタイプ葉が小さくて葉裏が白い	
カボス	Citrus spaeocarpa	H3.0	1	黄色く熟す前の緑色の果実を収穫し料理に使うカンキツ類	
アマナツ	Citrus natsudaikai	H3.0下	1	香は香りのよい白花を付ける樹冬から大きな果実が色づく常緑樹	
ゲッケイジュ 'オーレア'	Laurus nobilis 'Aurea'	H2.0 立ち根盤	1	新芽が黄金カラーリーフ	兵庫
ウンシュウミカン	Citrus unshiu	H1.2 W0.8	1	28cm中 pot	愛媛
キンカン	Fortunella margarita	H1.2 W0.8	1	28cm中 pot	
グレビリア 'ロビンゴードン'	Grevillea 'Robyn Gordon'	H180 10号	1		福岡
メラレウカ 'レボリューションゴールド'	Melaleuca bracteata 'Revolution Gold'	H200 10号	1		
シイモチ	Ilex buergeri	H2.0	1	強剪性のある小高木葉消しのよい実がなる	鹿児島
リンボク	Prunus spinulosa	H2.0	1	サクランボの苗木では珍しく常緑樹皮はサクランボ似で照り肌	

新樹種部会 日比谷ガーデンニングショー2011 「かおる空間をつくる 造園樹木の展示」

例年日比谷公園にて開催される日比谷ガーデンニングショー2011において、「かおる空間をつくる造園樹木の展示」と題し、全国各地の新樹種部会から募集した樹木を展示し、一般来園者、および十月二十四日(月)開催の研修会参加者に披露した。展示期間は、十月二十二日(土)〜十月三十日(日)の九日間。



新樹種部会「かおる空間をつくる造園樹木の展示」日比谷ガーデンニングショー2011にて



陸前高田市の一本だけ残った'希望の松'

青年部会

陸前高田 花のカプロジェクトに青年部会員13名が参加

日時: 2011年11月5日(出)
場所: 岩手県陸前高田市米崎町松峰
主催: 花の力 プロジェクト
参加人数: 約200名(地元ボランティア含む)内 青年部会員13名

日程:

Table with 3 columns: Day, Date, and Schedule. It details the itinerary from November 4th to 6th, including travel, meals, and the main project work.

趣旨と内容: 陸前高田市には震災前から園芸愛好家が多く、さまざまな活動をされていました。その中でも600坪の庭を丹精こめてお手入れされていた吉田正子さんの庭は地元の皆さんに愛されていたが、震災によりすべて流されてしまいました。...

当日の様子

(花の力 プロジェクトのHPにて動画があります。 http://hananochikara.org/information/post1629/)



作業中



植栽後の様子



参加された皆さん



青年部会の有志達

被災地支援ツアー(震災復興支援活動)

についての報告

青年部会 関東甲信越ブロック長 幡谷 彰彦

平成23年11月4日(金)から同6日(日)にかけて、青年部会有志13名で、岩手県陸前高田市に被災地支援ツアーに行きましてご報告させていただきます。

同ツアーは東京都世田谷区の花弁類団体「花のカプロジェクト」主催によるボランティアツアーでありました。被災地において花壇を製作するという、造園建設業が活かせる内容でありましたので、協会青年部内において参加者を募ったのであります。

参加者は、協会青年部内でも主に関東甲信越ブロックのメンバーが中心になりました。同ブロックの役員会は丁度3月11日に赤坂の協会事務局で行われ、会議の最中に被災するという状況に遭遇いたしましたので、そのメンバーが中心になって、実際に今回の大震災の被害の一番ひどかった地域を見ておく、ということに意義を感じていたのであります。

ツアーはバス車中2泊の弾丸ツアーで行われ、5日(土)の早朝、私たちはボランティアの開催地である陸前高田市に到着いたしました。

丁度私は車中で仮眠をとっており、目を覚ますとそこに被災地の光景が広がっていたのですが、そこには、普段目にしない景色がありました。大変に不謹慎な表現ですが、『目のまえに広大な新興住宅地用の更地が広がっている』と眠気眼には見えたのであります。

それ程までに、津波によって流された街の景色は更地へと変わっており、惨状となっていたのであります。特に、海岸側の津波が直撃した箇所と、波が届かなかった箇所の境界が明確になっており、町並みが、急に何も無い更地へと豹変しているものであります。3~4階建ての建物においても、その上階にまで波が達したらしく、窓が大破したままになっており、その惨状を窺い知ることが出来ました。

ボランティア活動の方は、津波によって流された個人邸跡にオランダ風公園的な花壇を、現地の方々を交えて作っていく、という内容で行われました。参加人数は、ツアー参加者に現地の方を交えて200人弱も集まりました。

協会青年部のメンバーたちは、若い男手ということで重宝され、敷地境界の竹柵(→結構本格的なもの)や、庭石用のブロック採取運搬と設置(→実際に廃墟からブロックを拾ってきて運搬した)等を行いました。ただ花の苗を植えるといった軽作業に終始せず、職能的なスキルを活かした内容になり、行った意味合いがあったと思います。

また、花のカプロジェクトさんという他所の団体のイベント開催を目にすることにより、今後の私共青年部会の活動にも何らかのヒントを各自が吸収できたものと思います。

現地の皆さんが、その多くが身内や関係者を亡くしているという状況の中、非常に明るく振舞っておられました。そこには、窮地に置かれても徐々に平穏を取り戻していこうという人間の強さが垣間見られたと思います。今年は、何かと震災に振り回された一年でありました。しかし、日常を取り戻し、作り直していくという姿には、逆にこちらが勇気付けられた感がありました。集団行為の力というものを実感出来るツアーであったと思います。

陸前高田の現状



津波で倒壊した家屋



このアパートの4階まで津波が来たそうです



押し流された車もそのままに...

陸前高田市 花のカプロジェクトに参加して

青年部会会長 近藤 盛太郎

3月11日に起きました東日本大震災において甚大な被害のあった東北で何か出来ないだろうか話し合っていたところ、花のカプロジェクトのお話をいただきました。

我々が被災地にて少しでも力になれる内容でもあったので青年部の有志13名で参加してきました。

現地入りしてまず唖然としたのは震災の爪あとがまだそのまま残っていることでした。ある程度の瓦礫などは業者の手によって山積みされてはいるものの、ほとんどが基礎のコンクリートだけの更地となった住宅地跡が広がり、廃墟となったアパート、津波で押しつぶされた車などが点在している状況でした。その場所に一つ一つの家庭があったと思うと胸が締め付けられるような思いでした。

植栽地に着くと動物病院の跡地で、粘土と固い赤土の層がむき出しの場所でした。(その場所で2名の方がお亡くなりになっていたそうです。)

自分達はそこを開墾し、土壌改良して植栽準備をしたり、境の竹柵作りなど力仕事を中心に行い、植栽はそのほかの方と地元のボランティアの方を中心に用意してあったピオラ(地元の生産者に葉詰したもの)・チューリップ・スイセンを植えてもらいました。(作業中は地元の方達にも数多くの笑顔と活気があり、非常に印象的でした。)

今回のプロジェクトに参加させていただいて、少しでも現地の方の心の癒しにつながればうれしく思います。

参加した13名の会員の方達もそれぞれに実際に現地に行き、いろんな事を肌で感じたことと思います。

また、花の業界との異業種交流も出来たこといい経験になりました。何度も現地に足を運び地元の要望を取り入れ企画され、花の業界でイベントを行い1500名を集めての募金活動を予算にした運営の仕方やそれらを行う行動力と主催者側の熱意。自分達の広いネットワークを使い被災地の生産者への協力、地元のボランティアへの働きかけやマスコミへのPRなどこのプロジェクトの大きさに驚きました。

今後、津波到達点の桜の植樹等もされていくそうです。またそのときには自分達も協力していきたいと強く感じました。

会員動向

正会員・退会

▽タナベ 植木(栃木県)

田邊 進

正会員・社名変更

▽(株)備藤園(埼玉県)

(旧)備藤園

代表者変更

▽(有)陣屋植木

(新)菅澤直樹

(旧)菅澤正夫

▽イビデングリーンテック(株)

(新)内山忠正

(旧)尚 卓

▽赤塚花木園(三重県)

(新)赤塚正基

(旧)赤塚重一

庭園樹部会・退会

▽(有)時田農園(愛知県)

時田 悟

計報

飯塚美佐子様(千葉県)

(株)飯塚緑化土木(飯塚靖久氏母)

平成二十三年十二月二十九日没

享年七十八歳